

「鉢の裁き（2）」

黙 16：12～21

1. はじめに

(1) キリストの再臨の前に何が起こるかを見ている。

①15章～16章では、大患難時代後半の3年半に起こる出来事が取り上げられる。

②15章は、鉢の裁きへの前奏曲である。

* 聖徒たちへの励ましのメッセージである。

③16章は、第7のラッパの裁きである。

* 「第7のラッパの裁き」＝「7つの鉢の裁き」で、最も激しい裁きである。

* 第7つ鉢の裁きに続く出来事が、キリストの再臨である（19章）。

(2) 鉢の裁きを2つのグループに分けて学んでいる。

①第1～第5の鉢の裁き

②第6～第7の鉢の裁き

* この2つは、ハルマゲドンの戦いに関係している。

* ハルマゲドンの戦いには8つの段階がある（フルクテンバウム説）。

* 第6の鉢の裁きは、ハルマゲドンの戦いの第1の段階。

* 第7の鉢の裁きは、ハルマゲドンの戦いの第8の段階。

2. アウトライン

(1) 第6の鉢の裁き（12～16節）

(2) 第7の鉢の裁き（17～21節）

3. 結論

(1) ハルマゲドンの戦いの8段階

(2) 黙示16章17節とヨハネ19章30節

7つの鉢の裁きの後半について学ぶ。

I. 第6の鉢の裁き（12～16節）

1. 12節

Rev 16:12 第六の御使いが鉢を大ユーフラテス川にぶちまけた。すると、水は、日の出るほうから来る王たちに道を備えるために、かれてしまった。

(1) 第6の御使いが、鉢を大ユーフラテス川にぶちまけた。

①すると、川の水が涸れた。

(2) ユーフラテス川

- ①ユーフラテス川の源流は、トルコ北東部の山地である。
- ②途中シリアを通過し、イラクでチグリス川と合流してペルシア湾に注ぐ。
- ③全長約3000km弱の国際河川である。
- ④古代都市ウルやバビロンは、この川のほとりにあった。
- ⑤古代ローマ帝国の東の境界線になっていた。

(3) 聖書預言では、約束の地の東の境界線である。

①創15:18

Gen 15:18 その日、【主】はアブラムと契約を結んで仰せられた。／「わたしはあなたの子孫に、この地を与える。／エジプトの川から、／あの大河、ユーフラテス川まで。

②申1:7

Deu 1:7 向きを変えて、出発せよ。そしてエモリ人の山地に行き、その近隣のすべての地、アラバ、山地、低地、ネゲブ、海辺、カナン人の地、レバノン、さらにあの大河ユーフラテス川にまで行け。

③ヨシ1:4

Jos 1:4 あなたがたの領土は、この荒野とあのレバノンから、大河ユーフラテス、ヘテ人の全土および日の入るほうの大海に至るまでである。

(4) 反キリストの軍勢が侵攻してくるのが可能になった。

- ①ユダヤ人を抹殺するための戦いが始まろうとしている。
- ②彼らは、キリストの再臨を妨害するためにユダヤ人を滅ぼそうとしている。

(5) 「日の出るほうから来る王たち」とは、誰か。

- ①ある学者は、100以上の注解書を調べ、50以上の説があるのを発見したという。
- ②字義通りに読めば、「東の方から来る王たち」である。
- ③聖書が「東」という場合は、極東(中国)ではなくメソポタミアを指す。
- ④反キリストの国の首都は、バビロンである。
- ⑤東の国々の王たちが、川が枯渇するという奇跡に助けられて進軍してくる。

2. 13~14節

Rev 16:13 また、私は竜の口と、獣の口と、にせ預言者の口とから、かえるのような汚れた霊どもが三つ出て来るのを見た。

Rev 16:14 彼らはしるしを行う悪霊どもの霊である。彼らは全世界の王たちのところに出て

行く。万物の支配者である神の大いなる日の戦いに備えて、彼らを集めるためである。

- (1) イスラエルに対する戦いを計画しているのは、偽の三位一体である。
 - ① 竜（サタン）、② 獣（反キリスト）、③ 偽預言者

- (2) 彼らの口から、3つの悪霊が出て来た。
 - ① 汚れた霊である。「かえるのような」
 - * かえるは、儀式的に汚れている。
 - * レビ 11：9～12、41 参照（水の中において、ひれやうろこのないもの）
 - ② 3つの悪霊は、偽の三位一体の命令を実行する。

- (3) 3つの悪霊の活動
 - ① しるしを行う。
 - * これは、Bクラスの奇跡である。
 - * 全世界の王たちが苦しんでいる（水不足、猛暑、皮膚病）。
 - * その王たちを助けるためには、しるしが必要である。
 - ② 「大いなる日の戦い」のために、全世界の王たちを招集する。
 - * この戦いは、ハルマゲドンの戦いである。
 - * 王たちは、イスラエルのどこかの地に招集される。

3. 15 節

Rev 16:15 ——見よ。わたしは盗人のように来る。目をさまして、身に着物を着け、裸で歩く恥を人に見られないようにする者は幸いである——

- (1) これは挿入句である。
 - ① 主イエスへの信仰を捨てない人たちへの励ましのことばである。
 - ② 語っているのは、神ご自身である。

- (2) 「わたしは盗人のように来る」
 - ① 予期せぬ時に、突然来る。
 - ② 人々は、まだ準備ができていない。
 - ③ それゆえ、霊的な目を覚まし続ける必要がある。

- (3) 「身に着物を着け、裸で歩く恥を人に見られないようにする者は幸いである」
 - ① 起源 1 世紀の読者には、この言葉の意味がよく理解できた。
 - ② 番兵は、任務中に寝ているのが見つかり、罰を受けた。
 - * 着物を脱がされた。

*見せしめのために、裸で歩かされた。

③霊的に目を覚まし続ける者は、祝福を受けるという約束である。

4. 16 節

Rev 16:16 こうして彼らは、ヘブル語でハルマゲドンと呼ばれる所に王たちを集めた。

(1) 反キリストの軍勢が集結する場所は、ハルマゲドンである。

①「メギドの山」という意味である。

②イズレエル平原の西の端にある山

*イスラエルで一番面積が広いのが、イズレエル平原である。

③ここは戦いの場ではなく、反キリストの軍勢が集結する場所である。

II. 第7の鉢の裁き（17～21 節）

1. 17 節

Rev 16:17 第七の御使いが鉢を空中にぶちまけた。すると、大きな声が御座を出て、聖所の中から出て来て、「事は成就した」と言った。

(1) 大きな声

①神の声である。

②聖所の中から出て来た。

(2) 「事は成就した」

①ギリシア語で一語である。「ゲゴネン」（ギノマイ）

②これは、最後の裁きを紹介する言葉で、完了形である。

*神の怒りの裁きは、すべて行われた。

*神の怒りは、すべて取り去られた。

③キリストの再臨の前に起こることは、すべて完了した。

2. 18～19 節

Rev 16:18 すると、いなずまと声と雷鳴があり、大きな地震があった。この地震は人間が地上に住んで以来、かつてなかったほどのもので、それほどに大きな、強い地震であった。

Rev 16:19 また、あの大きな都は三つに裂かれ、諸国の民の町々は倒れた。そして、大バビロンは、神の前に覚えられて、神の激しい怒りのぶどう酒の杯を与えられた。

(1) 歴史上なかったほど大きな地震が起こる。

①黙6:12（第6の封印）

②黙8:5（第7の封印）

③黙 11:13 (二人の証人の召天)

④黙 11:19 (第7のラッパ)

(2) エルサレムは、3つに裂かれる。

①ゼカ 14:4

Zec 14:4 その日、主は御足をもって／エルサレムの東にある／オリーブ山の上に立たれる。オリーブ山は東と西に半分に裂け／非常に大きな谷ができる。山の半分は北に退き、半分は南に退く。

②エルサレムは、千年王国のために再建される必要がある。

4. 20～21 節

Rev 16:20 島はすべて逃げ去り、山々は見えなくなった。

Rev 16:21 また、一タラントほどの大きな雹が、人々の上に天から降って来た。人々は、この雹の災害のため、神にけがしごとを言った。その災害が非常に激しかったからである。

(1) 世界中の地形が激変する。

①これもまた、千年王国設立の準備である。

(2) 大きな雹が降って来た。

①一タラント(約45kg)の重さの雹

②神の怒りはここに極まる。

(3) それでも人々は、神をののしる言葉を口にした。

①裁きが激しくなっても、人々の心は頑ななままであった。

結論：

1. ハルマゲドンの戦いの8段階

(1) 反キリストの軍勢の集結(第6の鉢の裁き)

(2) バビロンの都の崩壊

①イザ 13章、14章

②エレ 50章、51章

③ゼカ 5:4～11

④黙 18章

(3) エルサレムへの攻撃とその崩壊

①反キリストの軍勢によるエルサレムへの攻撃

②ユダヤ人たちは、エルサレムを脱出し、ボズラに移住している。

③ゼカ 12 : 1~9、ゼカ 14 : 1~2

(4) 反キリストの軍勢のボズラ侵攻

①エレ 49 : 13~14

(5) イスラエルの民族的救い

①イザ 66 : 8

②ゼカ 3 : 8~10

③ロマ 11 : 15~27

(6) キリストの地上再臨

①イザ 34 : 1~7、63 : 1~6

③ミカ 2 : 12~13

④ハバ 3 : 3

(7) 反キリストの軍勢のヨシャパテの谷での滅亡

①ヨエ 3 : 12~13

②黙 14 : 20

(8) オリーブ山に立つ栄光の王（第7の鉢の裁き）

①ゼカ 14 : 4~5

2. 黙示 16 章 17 節とヨハネ 19 章 30 節

(1) 黙示 16 章 17 節

Rev 16:17 第七の御使いが鉢を空中にぶちまけた。すると、大きな声が御座を出て、聖所の中から出て来て、「事は成就した」と言った。

①「事は成就した」は、「ゲゴネン」である。

②罪に満ちた世界に対する神の怒りは、ついに収まった。

③次に起こるのは、キリストの再臨と千年王国の設立である。

(2) ヨハネ 19 章 30 節

Joh 19:30 イエスは、酸いぶどう酒を受けられると、「完了した」と言われた。そして、頭をたれて、霊をお渡しになった。

①「完了した」は、「テテレスタイ」である。

②完済したという意味である。

③イエスの勝利の宣言である。

④イエスは、ご自身の死が罪のための贖いの死であることを知っておられた。

⑤ロマ 5 : 1

Rom 5:1 ですから、信仰によって義と認められた私たちは、私たちの主イエス・キリストによって、神との平和を持っています。